
自己嫌悪の後に

死神亞夏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自己嫌悪の後に

【Zコード】

Z9007L

【作者名】

死神亜夏

【あらすじ】

いつものアスカとシンジのちょっととした喧嘩が物語が動き出す
それは、良い方向にかそれとも悪い方向にか……

「何よ……アンタが悪いんでしょ！」

「何で僕が悪いんだよ！」

ここは、ネルフ完備のマンションその中の部屋の一つ、そして、先程から怒鳴っている少女が惣流・アスカ・ラングレー、ネルフ所属のエヴァンゲリオン式号機パイロットアメリカ系ドイツ人と日本人のクオーターである

そして、こちらのアスカと喧嘩をしているのが碇シンジ、アスカと同じでエヴァ初号機パイロット父がネルフの最高責任者、そして、母はシンジが小さい頃、E計画の実験中に亡くなつた

「シンジ！アンタがちゃんとお風呂の温度計つて無いのが悪いんじやないの…」「何だよ…0・8 違うだけでそんなに言つこと無いだろ！…！」

「0・8 違うだけでも熱いものは熱いの…早く、変えてよ…そのぐら…しか取り柄無いんだからさ～！」

「……………いだ」

「ん？何？ハツキリ言いなさいよ…！」

「…………嫌いだ…………アスカなんて…………アスカなんて…………大キライだ〜〜！！」

シンジは、そう怒鳴ると自分の部屋にもどった

「何よあいつ…………」

アスカは、不貞腐れた様に下を向いて小さく呟いた

部屋に入ったシンジはベッドの中に潜り込んだ

「もう、嫌いだアスカなんて…………何だよ！自分でわ何にもしない
くせに僕が、間違えるとすぐ怒る！」

そう思つた瞬間疑問が頭に浮かんだ

じゃあ、何で僕は、アスカと一緒に住んでるんだ……命令だから?
違う！僕は、アスカと一緒にいると楽しいんだ！！ア
スカの笑顔を見るのが嬉しいんだ！だから、僕は、アスカと一緒に
住んでるんだ！

「アスカに謝らなくちゃ」

シンジは、ベッドから出てアスカがいるリビングに向かった
そして、シンジはリビングで見た光景に驚いた

「ア、アスカ？どうしたの何で泣いてるの？」

シンジは、アスカの背中に手をやつた

「アスカ」

「シ、シンジヘビウしたの？怒って自分の部屋にも行つたんじゃないの？」

アスカは、泣きながらシンジを見つめた

「アスカ、ごめん僕、言いすぎたよ！」

「シンジ、私が悪いの私が何もしないくせに偉そうに言つて……
……だけど、シンジ私を捨てないで！私を嫌わないで！お願ひシン

「ア、アスカ？」

シンジは、アスカの思いもしない言葉に驚いた

「でも、ダメだよね…………分かつてゐるんだ」こんなこと虫がよすぎ
るつてこと、本当はもつとシンジと一緒に笑つていていいんだよ樂しく
いたいんだよ……でも、何故か言いたくもないことをシンジに
言つちやう、すぐに怒つちやう……いや、違うか、言いたくもない
なんて嘘よね心の何処かでそり、思つてゐるから口に出ちやうムカつ
くから怒つちやう最低だよね私……シンジは、そんなに優しいのに、
だから、もう決めたんだ私…………この部屋出でていこうと思つて、ネル
フに行けば寮だつてあるし、もう、シンジと喧嘩しないですむから、
シンジと喧嘩するの私もう、嫌だから、だから、「ダメだよ…………」

「えっ！？」

「ダメだよ、アスカ」

シンジは、アスカを思いつきり抱き締めた

「アスカ、アスカが最低な分けないだろ、そんなに自分を責めないでよ」

「でも、私」

「アスカ、好きだ」

「止めて……私、シンジに好かれる資格なんてない」

「資格なんて関係ないよ！－！僕は、誰に何と言われようとアスカが好きだ」

「こんな私で……良いの？」

「そんな、アスカだから僕は、好きなんじゃないか」

「シンジ！－シンジ！－！」

アスカは、シンジを強く抱き締め返した

「ねえシンジ、キスして」

「……うん」

そして、2人の影は一つになつた

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9007/>

自己嫌悪の後に

2011年2月25日20時41分発行